

学校の教育活動から

○音楽発表会に向けて！

今週の土曜日（28日）に「音楽発表会」を行います。当日の発表に向けて子ども達は一生懸命に練習しています！“それぞれの学年の発表”“下学年、上学年に分かれての発表”“全体発表”の中で、子ども達が歌や呼びかけ、演奏、そして演技？で表現していきます。どうぞ当日を楽しみにお越しください！



お知らせ

○「三国境」に関するTV放送！

三国とは、江戸時代の筑後国（小郡市）、筑前国（筑紫野市原田）、肥前国（佐賀県三養基郡基山町）のことで、その三藩の国境に建てられたのが「三国境石」です。この「三国境石」が本校の敷地内にあり、先日テレビ西日本が取材に来ました。放送されるのは2月27日（金）の「記者のチカラ」（16:49~19:00）という番組の「出口調査」というコーナーです。麻生学園小学校の名前は出るようです。

感じたことから

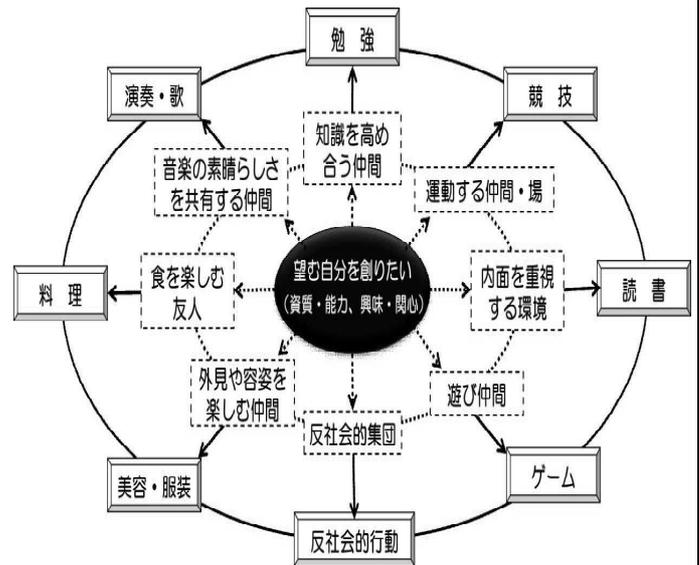
○どんな出会いがあるか、どんな集団に身を置くか

人は誰しも「望む姿に自分自身を創りあげていきたい」と思っています。その望む姿は自分自身の「資質や能力」「興味や関心」に左右されるのは当然ですが、そればかりではないようです。

例えば、右の図で「運動する仲間・場」→「競技」とありますが、身近に“スノーボード”という「運動(競技)」をする人がいて、練習場があって、その集団に身を置けば、“スノーボード”で様々な技を華麗にできる自分の姿を創り上げていきたいと思ひ、「競技」に打ち込むことでしょう。

「外見や容姿」が気になり、同様のことを感じる仲間がいれば、「美容や服装」に一層強い思いが生じ、自分らしさを“外見”をもって創り上げることにこだわりをもつことでしょう。

そこで、本校ですが、中学受験を目指す学校です。受験に必要な様々な「知識」を得るために、同じ目標をもった仲間達と切磋琢磨しながら「勉強」に打ち込むことを求めている学校です。そして、保護者の皆様もそのことを求めて本校への入学をお決めになったことと思います。



これらのことから考えると、「どんな出会いがあるか」「どんな集団に身を置くか」(図の内側点線部分)によって「創り上げたい自分の姿」(図の外側実線の部分)は変わってくるのだと思います。

さて、そこでもう一度図を見ていただきたいのですが、この中で少し歪(いびつ)なものがあることにお気づきでしょうか？一番下に挙げている「反社会的行動」です。「反社会」的な行動をするグループに身を置くならば、そのグループに自分が同調していることを示すために、また、集団での自分の地位向上のために「反社会的行動」を繰り返します。残念ながら、それが、自分の(多分、本当ではない)望む姿になってしまっているのです。さらに残念なのが、こうした「反社会的行動」を是とする価値観が、周囲へ圧力を加え、他者の「望む自分を創るための努力」を妨げてしまうことがあるのです。

例えば、「勉強」を社会的行動とするならば、それに反する価値観から「そんなに勉強ばかりして」と文句を言います。言われた本人はやる気を失います。一生懸命に歌おうとしている(社会的行動)子が、『そんな必死になるな』と言わんばかりの目を向けられれば意欲が削がれます。「反社会的な行動」を強要され、それを断れば、「つまらない奴だ」と誹られます。中学校、高校ともなればこうしたことが起こりがちですが、実は、その芽は小学校の高学年から出てくることもあるのです。まさしく「至心」でいう『自分を大切に』『他者を大切に』に反した姿です。

保護者の皆様が、本校への入学をお決めになった背景には、一人一人が伸び伸びと「望む自分を創る」ことに抵抗なく邁進できる環境を望んでいるからに他ならないでしょう。私たち教職員は、その思いを守るため、また、その思いの実現のため、子ども達を指導し続けたいと思います。

今週末には、「音楽発表会」を行います。子ども達が『音楽の素晴らしさに触れ、それを是とする学級集団』の中で『歌や演奏を精一杯に表現している姿』をご覧くださいければ幸いです。